

三小タイムズ

令和2年7月20日発行 校長 辻 久恵

社会授業（6年2組）

単元名 国づくりへのあゆみ

本時のねらい

古墳がどのようにつくられるのか、資料や想像図から読み取り、それをもとに話し合い、朝廷や豪族がどのような権力をもっていたのかをとらえる。

学習の展開

○前時の振り返り

- ・国が出来てきた流れを確認しましょう。

○学習問題を確認する

古墳はどのような目的で、どのようにつくられたのだろう。

○予想をたてる

- ・誰にどんな力を見せつけようとしたのでしょうか。

- ☆大陸から来た人 ☆鉄や金 ☆武器 ☆建築力
- ☆まわりの小さな国 ☆他国を従える ☆技術
- ☆強い国 ☆人材 ☆指導者 ☆人口

○調べる

- ・古墳がどのようにつくられているのか調べましょう。
- ☆教科書、資料集を活用して人・もの・技の視点でノートにまとめる。

○話し合う（ホワイトボードを活用して意見交換）

- ・どんな力を見せつけるために、このようなことをしたのでしょうか。

☆もの 金属のシャベル かかるお金796億円
 材料は海から 土 140万㎡

☆人 のべ680万7000人
 渡来人 指導者 大王 兵士

☆技術 設計 土木工事
 水平に土をきれいに盛る

○学習問題のまとめをして次時の学習活動を確認する。

古墳は他の国々に強さや人の多さを見せつけるためにつくられた。
 それをつくる技術は渡来人によってもたらされた。
 次は国内の安定について考えましょう。

